

2016-17 RIテーマ 人類に奉仕するロータリー
碓氷安中ロータリークラブ週報 NO. 862

会長 室橋信好 幹事 和田雅之
RI承認 1998年4月15日(平成10年)



◆例会場 並木苑 TEL 027-382-0730 木曜日 12:30~13:30
◆事務局 安中市原市587-1(株)並木2F TEL 027-380-1322 FAX 027-380-1323
E-mail usuiannaka@rid2840.jp ホームページ www.rid2840.jp/usuiannaka

2017年1月26日(木) 第26回例会

追悼例会

久昌寺住職 久保直彦様
読経とご法話



在籍中の職業
深山昌賢 久昌寺住職
寺島鎮雄 サンケン鋳業(株)
本多忠光 本多病院理事長



今年は酉年で羽ばたくとか飛躍とか言われます。今年は阪神淡路大震災と東日本大震災の記念の年です。阪神の方は23回忌、東日本は7回忌にあたります。ある共通している数字があります。阪神は5:46発生、東日本は14:46発生いずれも46分です。なにか因縁があるのかなと思います。神戸や東北の町は絶望の町でしたが、今はずいぶん変わってきている。そんな中で飛躍という事につながってきます。お経の中で「雑宝蔵経」という難しいお経があります。その中に鳥が出て来る話があります。動物たちが住む山が大きな山火事になってしまう。みんなで努力して火を消そうとしたけどあきらめて下に逃げてきた。山が燃えてしまうところを絶望感に見ていた。すると小鳥がいないことに気付く。逃げ遅れてしまったのか。炎の陰に鳥が見えて、羽をパタパタしているのが見えた。池の水を羽につけて炎を消そうとしていた。動物たちは無駄なことはやめなさい、という無駄なことはわかっているが何もやらないであきらめる気持ちに嘘はつきたくない。だから、駄目とわかっているがなんとかしたい。それを見ていた天

の帝が心意気に感動して雨を降らした。飛躍とは大きく羽ばたくこと、初めから大きく羽ばたくことはできない、少しずつ羽ばたくことによって大きく羽ばたける。微力ではあるが、無力ではない。何人もの人数になった時に大きな力になる。あきらめずに続けて行けばだんだん大きくなる。大震災の時に無力なりかけたが、一人一人が一丸となってきた結果が今につながっていると思います。まだまだ、地元の人にとっては飛躍までとはいかないかもしれないが22年23年経って見違えるようになったのは無力ではなく、微力ではあるが今に残っている。一人一人の力は微力だが飛躍まで行かないが、必ずいつか飛躍までにつながる。まずは謙虚な気持ちをもって、結果的に大きく羽ばたけるように一年間皆様にご活躍して頂けるようご祈念いたしまして法話とさせていただきます。お世話様でございました。

◆ 献杯 静会員

